

Ram Air Intake System

ラムエアインテークシステムNo. GJA2 V5 900

取付・取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ ラムエアインテークシステムをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車両に組み付ける前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。
また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

適合車種:アテンザ (GJ2FP/GJ2AP/GJ2FW/GJ2AW)

警告

- 本書に記載する説明にしたがって装着を行ってください。本書に記載する以外で、当製品の取付け上やむを得ない場合を除き製品の加工・改造・分解および、車両の改造は絶対行わないでください。
- 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方は自動車整備を専門に3年以上経験をされている方、または当該経験者の監督下で作業が可能な方を原則とします。
- 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダ㈱発行の整備書を参考に作業を行ってください。
- 作業中に車が動き出さないように平坦場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停車させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を行ってください。
- 適合車種欄に記載する車両以外には絶対に取付けをしないでください。
- 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車体に改造が施されていたり、純正ではない部品が取付けられていたりした場合、または日常点検を怠ったために発生した事故などについては、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品は遮熱効果を最大限発揮させるため、インテークダクトとボンネットのクリアランスが最小限となる様、設計されており、車両の個体差によっては、ダクトケースとボンネットが干渉する場合があります。もし干渉が発生する場合は、ボンネットの高さ調整などを行ってください。

PARTS LIST



装着手順

注)ボルト及びナットは緩み防止のため、必ずネジロック剤等を塗付して取付けてください。



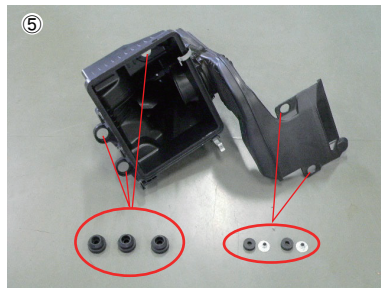
エアフローセンサーのコンネクターを切離し、エアホースのホースクランプを緩めます。



エアークリーナーカバーに接続しているφ6ホースを切離します。



エアークリーナーケースから、エアフローセンサーを取り外します。



フレッシュエアードクトからマウンティングラバーとスペーサーを、エアークリーナーケースからマウンティングラバーをそれぞれ取り外します。



車両からフレッシュエアードクトとエアークリーナーケースを取り外します。



樹脂ステーに純正マウンティングラバーを取り付け後、ロアケースにビスBで取付けます。



エアークリーナーカバーに接続していた図示のφ6ホースを車両から取り外します。



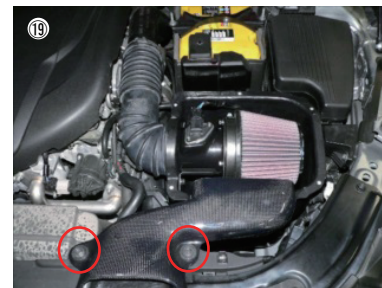
アダプターをセンサーパイプにビスCで固定します。



センサーパイプをロアケースにビスC、ナットで固定します。



アダプターにエアフィルターを取付けます。



フレッシュエアードクトを純正ボルトで固定します。



純正φ6ホースを取り外し、付属ホースと交換して取付けます。



センサーパイプにワッシャーを挟み、エアフローセンサーをビスAで固定します。



φ6ホースをセンサーパイプに接続します。エアフローセンサーハーネスをエアフローセンサーに接続します。



フレッシュエアードクトに純正のマウンティングラバーとスペーサーを取付けます。



ビスBを使用して、アッパーケースとロアケースを固定します。



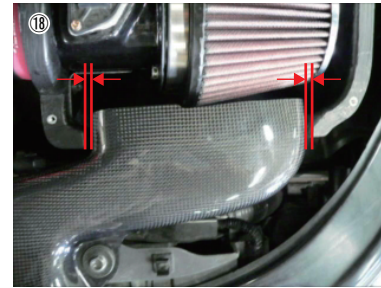
φ6ホースとエアフローセンサーハーネスを穴に通し、ロアケースを車両に取付けます。



センサーパイプを純正エアホースに接続し、ホースクランプで固定します。



エアフローセンサーハーネスを通した穴の隙間にクッションテープを貼付けます。



左右の隙間を均等にしてフレッシュエアードクトを配置します。



各部の増締めを行い作業完了です。